

場合もあれば、全員を一緒のクラスにする場合もあります。松ケ崎小学校の子どもたちが、統合校でしっかりと活動できるように、学校間でしっかりと議論をしてもらいます。また、統合後も子どもたちをしっかりと見ていけるよう、教員の加配を県へ要望していきたいと思います。今週月曜日に米ノ庄小学校で開催した意見聴取会において、参加者から「米ノ庄の皆さんが、松ケ崎の皆さんの思いや痛みを理解しながら、円滑に協議を進めていく必要がある。」という発言がありました。例えば、米ノ庄小学校の子どもたちには、道徳の授業を中心に「どんな気持ちで松ケ崎小学校の子どもたちと接するのか。」について考えるなどしてほしいと思います。

Q：先日開催された米ノ庄コミュニティセンターの水風船大会に、子ども2人が参加させてもらった。松ケ崎小学校の友だちを誘ったが、ちょうど学童のプールの日だったので、皆参加できなかった。せっかく企画していただいたのに、松ケ崎小学校の参加者が少なかった。教育委員会では、日程を把握していたのか。今後、交流会をしていただく場合には、もう少し予定を確認していただきたいと思う。

A：今回の企画は、米ノ庄コミュニティセンターが独自で開催していただいたもので、教育委員会は直前まで把握していませんでした。米ノ庄コミュニティセンターの方も、松ケ崎小学校の保護者の方から「せっかく企画していただいたのに、参加できずに申し訳ない。」というお電話いただいて、初めて事情を知られたそうです。「次は気を付けたい。」と反省をしてみえました。教育委員会としては、米ノ庄コミュニティセンターの方々のご尽力にも、松ケ崎小学校の保護者の方からの電話にも頭が下がる思いです。そして、前向きに考えていただいていることを大変有難く思います。

Q：先日、松ケ崎小学校1・2年生と米ノ庄小学校2年生の交流学習をしていただいた。ただ、米ノ庄小学校は2年生だけだったので、息子は保育園の時の友だちに会えなかったようであった。統合するのであれば、同学年同士で交流してほしいと思う。

A：米ノ庄小学校と相談する中で、「まずは6、7月にプールで交流しよう。」となりました。ただ、米ノ庄小学校が学年毎にプールに入っているのも、バスが使える日も含めて調整するのは難しく、今回のような形になってしまいました。夏休み以降、同学年での交流を予定しています。交流を進める上でタクシー等が必要な場合には、教育委員会も支援をしていきます。

Q：娘が特別支援学級に在籍していて、統合時に6年生になる。病弱学級があるのかどうかなど、米ノ庄小学校の特別支援学級の様子を、分かる範囲で教えてほしい。

A：統合後も、既存の学級が維持できるように、県に対して働きかけをしていきたいと思っています。特別支援学級在籍の子どもたちが安心して学校生活を送れるよう、統合校のアシスタントは充実させていきたいと思っています。

Q：松ケ崎小学校の先生は、統合校と一緒にいけるのか。

A：教員の数は法律で決められていますので、松ケ崎小学校の先生が、全員統合校に配置されることはありません。松ケ崎小学校から統合校に行ける先生の数は、2～3人程度になるのではないかと思います。両校の学校長ともしっかりと議論していききたいと思っています。

Q：統合校において、令和8年度の特別支援学級が「2学級7人」となっているが、どうやって決まるのか。

A：特別支援学級数は、種別と人数で決まります。

その他、意見等がございましたら、学校または教育委員会にご連絡ください。

このような内容でした。松ケ崎小学校・米ノ庄小学校学校活性化協議会は、9月2日（月）に第2回協議会が開催されました。内容につきましては、また後日、お伝えいたします。また、今後、次のような準備部会をつくり、必要なことを検討していきたくとのことです。

- ①総務部会（学校名、校歌、式典、学校施設等に関する事）
- ②学校づくり部会（学校運営、目標、カリキュラム、行事等に関する事）
- ③学校事務部会（学校予算、備品、図書、教材、文書、保健、給食等に関する事）
- ④地域・PTA部会（通学路、スクールバス、PTA組織、学童、CS等に関する事）
- ⑤全体調整部会（各部会の進捗状況、調整、移転作業調整等に関する事）

このうち、④の地域・PTA部会には、松ケ崎小の保護者数名の方々にもご参加いただきたいとのことでしたので、本部役員の皆様ともご相談しながら進めてまいりたいと思います。